

新たな時代に進もうとする長岡市の状況を踏まえ、地域の魅力を活かしたまちづくりを展開するために、10年後にめざすまちの姿を次のように定めました。

市民一人ひとりが輝き、知恵と力を結集するまち

「米百俵」の精神のもと、人それぞれが個性を発揮し希望を持っていきいきと暮らせるまち、そして力を合わせて未来を創るまちの姿を表しています。

豊かな自然や地域の歴史・文化が光るまち

市町村合併で守門岳から日本海まで広がった、豊かな自然と多様な地域の歴史や文化を守り、将来に向けて積極的に活かすことが求められています。

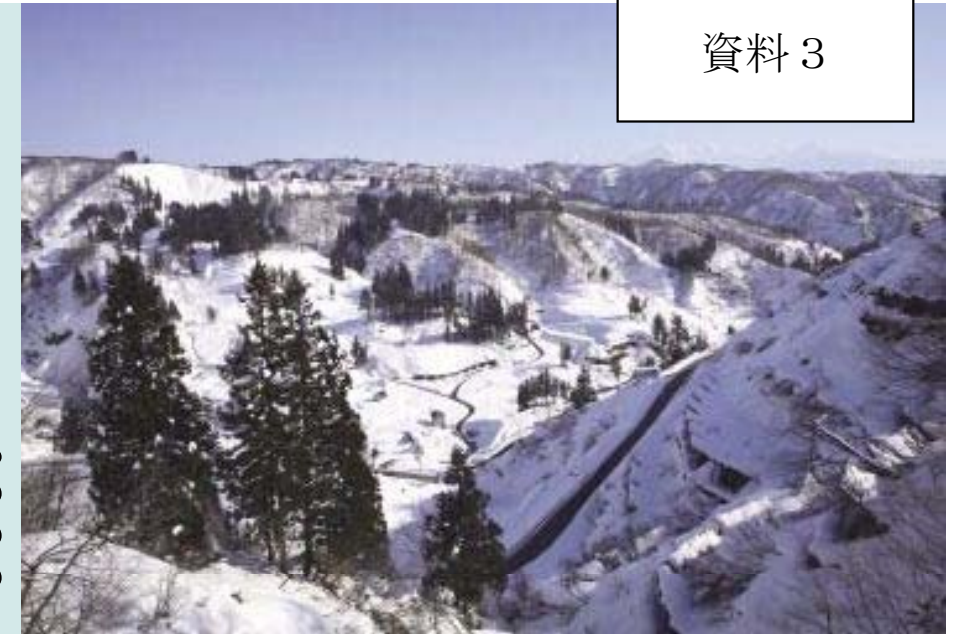


みんなで支えあい、誰もが安全に安心して暮らせるまち

水害・震災からの復興を貴重な経験として前向きに活かし、市民が互いに支えあう安全・安心なまちを実現したいという強い願いが込められています。

活気とにぎわいがあり、魅力ある文化と産業を創造するまち

都市の活力や新たな文化・産業を生み出す拠点都市として、これまで以上に重要な役割を果たすことが期待されています。



将来のまちの姿に共通する前向きな思いや新しい時代への考え方を踏まえ、まちづくりの合言葉として、次のキャッチフレーズを掲げます。

前より前へ！長岡

人が育ち 地域が輝く



長岡のまちは、幾度となく災禍に遭いながらも、そのたびにフェニックス（不死鳥）のように粘り強く再生し、新しいまちづくりに取り組んできました。

そして今、合併による新市のまちづくりと大災害からの復興という大きな課題を同時に抱えながら、平成18年度に市制100周年を迎え、次の100年に向けた新たな時代に歩み出そうとしています。

これからの時代は、市民が安心していきいきと暮らすことができるとともに、多様な地域社会が将来にわたって持続できるまちづくりへ転換することが求められています。

このような転換点に立ち、新たな時代に進もうとする長岡市の状況を踏まえ、市民一丸となって災いを乗り越えひとつになろうという前向きな思いを一言で表す言葉として、「前より前へ！長岡」を掲げます。

さらに、この合言葉のもとに、市民一人ひとりが心豊かにはぐくまれ、各地域が個性を活かし連携するまちづくりを進めるため、「人が育ち 地域が輝く」を掲げます。